

第一号決議案：生協関連

【主文】

学生が普段からよく利用する生協がより使いやすくなるよう、営業時間の延長や食事スペースの確保などを求める。

【計画・要求】

- ・生協と共に学生の実態調査をすすめ、食堂と購買の営業時間の延長を生協に求める。
- ・建設が決定した第2 食堂ホールが完成するまでの間の食事スペースの確保を求める。
- ・食堂のメニューの値下げを生協に要請する。

第二号決議案：学費・奨学金の負担軽減

学費

【主文】

経済的理由で学業及び日々の生活に支障をきたしている学生がいる。その実態を告発し、全ての学生がお金の心配なく大学生活を送れるよう、大学・政府に要請する。

【計画と要求】

- ・これ以上学費を値上げせず、値下げを行っていくよう政府に求める。
- ・運営費交付金の削減をやめ、必要な予算を保障するために抜本的増額を政府に求める。
- ・農学部としてまたは農工大学として引き続き値上げに反対するよう大学に求める。

奨学金

【主文】

困窮する学生を早期に救済し、学ぶ機会を保障する奨学金の制度の拡充を政府に求める。

【計画と要求】

- ・奨学金制度の無利子枠を増やし、新たに給付制の奨学金制度を創立するよう政府に求める。

第三号決議案：図書館の充実

【主文】

図書館の開館時間が日曜日13時から17時までについて新たに確保されたことで、学生の図書館利用状況はある程度改善された。今回は昨年度から継続して1限目の授業前の開館、及び要望の多いジャンルの蔵書を増やすことを求める。

【計画と要求】

図書館職員の方に以下の2点について交渉する。

- ・平日の朝の開館時刻を現在の8時45分から8時30分に早めること。
- ・新書を中心とした蔵書を増やすこと。

第四号決議案：アルバイトについて

【主文】

本学の農学部学生が、より安心してアルバイトをできるよう、大学も現状以上に充実したサポートをすることを要求する。

【計画・要求】

- ・ 現在学生生活係内にあるアルバイト情報の掲示板を、学生が目を通しやすい表の掲示板に移動する。
- ・ 大学が紹介するアルバイト情報をもっと充実させる。

【本文】

115人の学生から、「大学が紹介するアルバイト情報をもっと充実させてほしい」という意見が集まった。現在は、ほとんどの学生が自分で仕事を探しているが、大学が間に入って紹介することで、学生のアルバイトへの不安を少しでも減らせるのではないかと考え、提案する。

第五号決議案：喫煙所について

【主文】

学生委員会が全農学部生を対象に行ったアンケートの結果において、「現状を維持してほしい」という意見と「減らしてほしい」という意見がともに多かった現状を鑑みて、分煙の徹底を求める。

【計画・要求】

- ・ 分煙が達成できる場所を新たに喫煙所とするか、喫煙室（扉によって煙の流出をできる限り防げることができる施設）を現在の喫煙場所ないしその他適切な場所に新たに造ることを求める。

第六号決議案：2号館の照明について

【主文】

有意義な学生生活を保障するために、学内施設の充実が必要である。2号館全体について、照明がないことで危険性が指摘されているのであれば、早急に対処すべきである。

【計画・要求】

暗くなってからも2号館の照明が維持されるよう大学に要請する。以下に、具体策の例を挙げる。

- ・ 2号館の廊下・階段の照明を6限終了後、少なくとも15分間（20：00）までは点灯する。
- ・ 入口ホールの水銀灯をすぐに点灯するような照明器具に交換し、また、全館に人感センサーを設置する。

【本文】

独自の調査によると、現状における2号館は夜間に照明が点いていないことが多く、危険性が指摘されていることがわかった。今年度前期・昨年度後期の時間割を調べたところ、前期で7つ、後期で6つの授業が5限及び6限の時間に開講されている。この時間帯になると日が沈み、2号館内は非常に暗くなる。したがって、照明設備に不備があることは非常に問題である。さらに、この影響は同館内で研究活動を行っている学部生・院生・教員にも及んでいるため、早急に改善すべきである。

第七号決議案：マイク設備について

【主文】

授業中、マイクのノイズが激しい、音量が安定しないなど、講義が聞き取りにくいいため、マイク設備の改善を求める。

【計画・要求】

- ・授業中、マイクの音が聞き取りづらいことがたびたびあるので改善を求める。
- ・使用法に問題があるとみられるので、特に要求の多い第一講義棟 25 教室、2 号館 11 教室、2 号館 21 教室、視聴覚教室のマイク付近に使用法に関する注意書きを貼る。

第八号決議案：冷水機について

【主文】

冷水機の増設を要求する。

【計画・要求】

各施設の冷水機の台数を増やすことを求める。

【本文】

学内には冷水機の設置数が少なく、水分補給の際は自動販売機に頼ることが多い。しかし、その都度自動販売機を利用するのは金銭的に不便で、また、大量のペットボトルで、たびたびごみ箱が埋まってしまう要因でもある。このようなことから、気軽に水を飲める冷水機を利用しやすいように、学内の各施設に設置を求める声が多くあがっている。そのため、冷水機増設を大学に要請したい。

第九号決議案：談話スペースの確保について

【主文】

学生達が交流を深めるための談話スペースの確保を要請する。

【計画・要求】

- ・授業で使用しない教室を、各館ごとに明確化し、使用できるようにする。
- ・空スペースに机・イスを増やす。
- ・営業終了後に、食堂を開放する。

【本文】

現在、学生が空き時間に使用できる飲食・談話が可能なスペースは限られている。また、雨天時には外にあるベンチ等が使用できないため、さらに使用できるスペースは減ってしまう。授業の行われている教室に迷惑をかけるためにも、談話スペースの拡大を要求する。

第十号決議案：ごみ箱の増設

【主文】

構内のゴミ箱の設置数は絶対的に少ないという学生からの意見をうけ、調査を行った結果、第一講義棟及び生協前のゴミ箱におけるゴミの飽和が確認された。構内に散乱するゴミは特に見受けられないが、ゴミ箱周辺の環境悪化が認められる。これらの現状に対し、何らかの処置を求める。

【計画・要求】

- ・第一講義棟を始めとする、構内ゴミ箱の増設を要求する。建物内だけでなく、生協前のゴミ箱の他、屋外のゴミ箱の増設も求める。
- ・ゴミ箱周辺の管理を徹底する。
- ・ゴミの回収回数を増やす。
- ・設置するゴミ箱を、現在より容量の大きなものに取り替える。

【実情】

第一講義棟の可燃物ゴミ箱の写真を示す。

